

1.地震 (地震時の行動)

地震は突然やってきます。もしも今、突然大きな揺れが起きたら、どのような行動をとればよいのか考えてみましょう。また、さまざまな場面での地震発生を想定し、どの場面でどのように行動したらよいか家族で話し合みましょう。

緊急地震速報!

地震発生!

1分~5分
身の周りの安全確保

5分~10分
家族の安全確認
避難準備

10分~数時間
地域の安全確認

避難生活

身の安全を確保!



まず低く! 頭を守り! 動かない!

避難勧告・避難指示(緊急)の発令 または自主避難



落ちついて火の元を確認し、出火していたら初期消火!



窓や戸を開け出口を確保する!

災害用伝言ダイヤル 171 (外出先から)

家族の安否確認!




電気よし!
外出前にブレーカーを切り、ガスの元栓を締めて避難!

一時避難地へ避難

一時避難地に災害の危険性がある場合

収容避難所へ避難



隣、近所の安否確認を行きましょう。



初期消火
火災の延焼を防ぐため、初期消火を行きましょう。

避難途中、門や塀には近寄らないようにしましょう。



避難途中、門や塀には近寄らないようにしましょう。



地域ぐるみで協力し合って救出、救護を行きましょう。

自宅で生活が不可能

一時避難所または、収容避難所

避難生活の安定へ



自宅で生活が可能

自宅へ




2.風水害 (大雨時の行動)

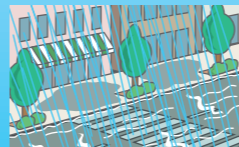
近年全国で局地的大雨による被害などが相次いで発生しています。大雨災害から自分の身を守るにはどうすればよいか考えてみましょう。

台風や大雨時は、テレビやインターネットで気象情報などを確認し、適切な行動をとりましょう。


台風の接近、前線などの大雨




避難が必要な状況




避難が必要な状況が進展




風水害の発生




風水害の終息



テレビやインターネットなどで情報を確認!




気象情報、土砂災害情報、河川水位情報、避難情報、ダム水位情報




避難判断は自分で!
浸水が始まる前に避難を!
現在開設中の一時避難所または、収容避難所を確認

避難情報の発令 または自主避難




一時避難所または、収容避難所



自宅で生活が不可能

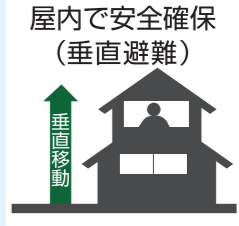
一時避難所または、収容避難所



避難生活の安定へ

自宅待機が可能

屋内で安全確保 (垂直避難)



必要性を感じたら避難

自宅で生活が可能

自宅へ

